

磐城新聞

本報日大第... 定価... 発行所 磐城新聞社

高久病院
電話五三三番

忌むべき争議

近き常磐地方各炭礦... 労働争議案件は眞面目に... 是れを考へれば一資本家... 労働者の望むるは出来... 産業の發達を阻害し勞... 働者自身を生活上の... 恐怖より起る自然の歸結... として平和な家庭を亡ぼ... 社会を擾亂する實に由... き問題である。労働... 者が正當なる自己の權利... を主張し當然得べき利益... を擁護する爲には時に争... 議も必要である。然る... どもすれば何等正しい理... 由と一貫せる主張がなく... 徒らに争議を職業とする... 者、傀儡となりや地に波... 亂を起し起す如きといふ... 労働争議は何等の價値が... き許りか、寧ろ吾々社会... 人類共同の敵として信用... を失ひ途には自ら石を抛... てるに沈むの破目も落... ちるべきを自覚せねばな... らぬ。這般に入山炭礦に起... った争議事件はよく是れ... を語る證左にして日本坑... 夫組合の行動が果して正... 當であつたか、今その經... 過の真相を率直に公開し... 公平なる讀者の批判に俟... つるは炭礦労働者の爲め... 緊要な問題である入山炭... 礦争議は無謀にして無半... 義無定見な組合の行動に... 對し始終一貫せる會社側... の正當なる態度は遂に...

扇風機の折損を種に 理不盡なる争議を起す

一度解決して直ぐまた新たな計画 仲介者高野、宮崎氏の徳義を無視し 入山炭礦争議發端

入山炭礦一回の争議の發端は... 扇風機の折損を種に... 理不盡なる争議を起す... 一度解決して直ぐまた新たな計画... 仲介者高野、宮崎氏の徳義を無視し... 入山炭礦争議發端... 入山炭礦争議の發端は去る二月末、日三月中旬に至り秋田縣尾去... 本坑夫組合警備隊は内郷深山に突如労働争議事件... 村長炭礦に彼れ争議を起すに先立ち、高野、宮崎氏を... 月除にわたつて本邦労働者入山炭礦警備隊員今村... 争議史上に特筆すべき大原、小浦の諸氏が前記尾去... 争議を惹起せしめ仙臺鎮山... 争議を起すに先立ち、高野、宮崎氏を... 争議史上に特筆すべき大原、小浦の諸氏が前記尾去... 争議を起すに先立ち、高野、宮崎氏を...

四萬圓を超過 警察の費用

入山炭礦争議も争議團が... 警察の費用を超過... 警察の費用を超過... 入山炭礦争議も争議團が... 警察の費用を超過... 警察の費用を超過...

入坑を阻止 卑劣な組合

入山炭礦争議も争議團が... 入坑を阻止... 卑劣な組合... 入山炭礦争議も争議團が... 入坑を阻止... 卑劣な組合...

悲慘な組合の末路は 寧ろ彼れ等の自業自得

入山炭礦争議も争議團が... 悲慘な組合の末路は... 寧ろ彼れ等の自業自得... 入山炭礦争議も争議團が... 悲慘な組合の末路は... 寧ろ彼れ等の自業自得...

高野宮崎両氏交々語る

入山炭礦争議も争議團が... 高野宮崎両氏交々語る... 高野宮崎両氏交々語る... 入山炭礦争議も争議團が... 高野宮崎両氏交々語る... 高野宮崎両氏交々語る...

監視を繼續 早月品評會

入山炭礦争議も争議團が... 監視を繼續... 早月品評會... 入山炭礦争議も争議團が... 監視を繼續... 早月品評會...

猛虎の如く暴れ廻り 組合員根こそぎ縛りに就く

入山炭礦争議も争議團が... 猛虎の如く暴れ廻り... 組合員根こそぎ縛りに就く... 入山炭礦争議も争議團が... 猛虎の如く暴れ廻り... 組合員根こそぎ縛りに就く...

斯くして争議の幕閉つ

入山炭礦争議も争議團が... 斯くして争議の幕閉つ... 斯くして争議の幕閉つ... 入山炭礦争議も争議團が... 斯くして争議の幕閉つ... 斯くして争議の幕閉つ...

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

高女試験延期

磐城高等女學校では... 高女試験延期... 磐城高等女學校では... 高女試験延期... 磐城高等女學校では...

此の卑怯なる組合

此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合...

農工行平支店

支店 長 河西八十治

常磐銀行出張所

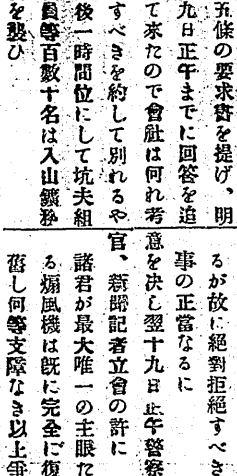
主任 鷹 久三

磐城銀行

支店 長 田中 稔

入山炭礦争議の真相

入山炭礦争議の真相... 入山炭礦争議の真相... 入山炭礦争議の真相... 入山炭礦争議の真相... 入山炭礦争議の真相...



高野宮崎両氏交々語る

高野宮崎両氏交々語る... 高野宮崎両氏交々語る... 高野宮崎両氏交々語る... 高野宮崎両氏交々語る... 高野宮崎両氏交々語る...

監視を繼續

監視を繼續... 監視を繼續... 監視を繼續... 監視を繼續... 監視を繼續...

早月品評會

早月品評會... 早月品評會... 早月品評會... 早月品評會... 早月品評會...

猛虎の如く暴れ廻り

猛虎の如く暴れ廻り... 猛虎の如く暴れ廻り... 猛虎の如く暴れ廻り... 猛虎の如く暴れ廻り... 猛虎の如く暴れ廻り...

此の卑怯なる組合

此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合... 此の卑怯なる組合...

- 磐城銀行 支店 長 田中 稔
- 農工行平支店 支店 長 河西八十治
- 常磐銀行出張所 主任 鷹 久三
- 磐城銀行 支店 長 田中 稔
- 農工行平支店 支店 長 河西八十治
- 常磐銀行出張所 主任 鷹 久三
- 磐城銀行 支店 長 田中 稔
- 農工行平支店 支店 長 河西八十治
- 常磐銀行出張所 主任 鷹 久三

弱い坑夫を囿にして 血を吸ふ組合幹部

その内情につくつく呆果る

元坑夫組合吉田元彦君の談

同志を携へて組合を退いた

茨城縣大倉無煙炭礦は別項だが今考へて見ると争議に参加して喰ふや喰すの如く今や全く右傾従業員も入りたる程の事を妻や子供達にも大きな犠牲に依つて強硬な全山の基を中絶して居たのである。それを拂せて何んの得る所があるか。今更だ日本坑夫組合が盛衰した動機、然かも組合の固なる地盤を有してゐた先づ組合を脱退するから金一封をせしめ、争議をどこの充實したか。組合員が来たら時同業職員日本坑夫組合支部まで日本坑夫の理由が有つた。争議部長兼宣傳部長として日本坑夫の理由が有つた。争議部長兼宣傳部長として日本坑夫の理由が有つた。争議部長兼宣傳部長として日本坑夫の理由が有つた。争議部長兼宣傳部長として日本坑夫の理由が有つた。

脱会せしめた一因は組合員の「私利私欲」

脱会せしめた一因は組合員の「私利私欲」が主である。組合員は組合の利益を追求するのではなく、自分の私利私欲を追求する。これが組合の分裂の主要原因である。

復讐する事が出来る

復讐する事が出来る。組合員は組合を脱退した後も、組合に対して復讐する事が出来る。これは組合の弱さを示している。

入山炭礦の騒動で検挙され

入山炭礦の騒動で検挙され、労働者も検挙された。これは労働者の権利を侵害する行為である。

馬の飼育用に燕麥を栽培

馬の飼育用に燕麥を栽培。これは労働者の生活水準を低下させている。労働者は生活に必要な物資を確保する必要がある。

野村技師指導

野村技師指導。これは労働者の技術向上に役立つかもしれない。

立ちざりの組合員が

立ちざりの組合員が。これは組合の規律を乱している。

涙金なぞ一文もやれぬ

涙金なぞ一文もやれぬ。労働者は生活に困窮している。

無分別の家出人

無分別の家出人。これは労働者の生活を脅かしている。

平署取締に多忙

平署取締に多忙。これは労働者の権利を侵害している。

好問の山中に首吊り男

好問の山中に首吊り男。これは労働者の生命を脅かしている。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

馬の飼育用に燕麥を栽培

馬の飼育用に燕麥を栽培。これは労働者の生活を脅かしている。

野村技師指導

野村技師指導。これは労働者の技術向上に役立つかもしれない。

立ちざりの組合員が

立ちざりの組合員が。これは組合の規律を乱している。

涙金なぞ一文もやれぬ

涙金なぞ一文もやれぬ。労働者は生活に困窮している。

無分別の家出人

無分別の家出人。これは労働者の生活を脅かしている。

平署取締に多忙

平署取締に多忙。これは労働者の権利を侵害している。

好問の山中に首吊り男

好問の山中に首吊り男。これは労働者の生命を脅かしている。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

着物や家具を賣つて

着物や家具を賣つて。労働者は生活に困窮している。

山を下る争議坑夫の家族

山を下る争議坑夫の家族。労働者の家族は生活に困窮している。

呪ふべき労働争議の渦根

呪ふべき労働争議の渦根。労働争議の原因を追究する。

獄中に縛られたが大

獄中に縛られたが大。労働者は不正に扱われている。

無分別の家出人

無分別の家出人。これは労働者の生活を脅かしている。

平署取締に多忙

平署取締に多忙。これは労働者の権利を侵害している。

好問の山中に首吊り男

好問の山中に首吊り男。これは労働者の生命を脅かしている。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

悲憤極まる未路

悲憤極まる未路。労働者の生活は悲惨である。

勢力の伸小田三井

勢力の伸小田三井。これは労働者の生活を脅かしている。

一行路病舎へ

一行路病舎へ。労働者は健康を害している。

図に乗つた組合が

図に乗つた組合が。これは労働者の権利を侵害している。

氣儘勝手な振舞

氣儘勝手な振舞。労働者の権利を侵害している。

哀れ坑夫が

哀れ坑夫が。労働者の生活は悲惨である。

親や妻子を残し

親や妻子を残し。労働者は家庭を壊している。

無分別の家出人

無分別の家出人。これは労働者の生活を脅かしている。

平署取締に多忙

平署取締に多忙。これは労働者の権利を侵害している。

好問の山中に首吊り男

好問の山中に首吊り男。これは労働者の生命を脅かしている。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

父園次郎儀 十九日午前零時十分死去。これは労働者の犠牲者である。

正義は神が守る

吉田入山事務部長談

正義は神が守る。吉田入山事務部長の談話。労働者の権利を守るには正義が必要である。

悲憤極まる未路

悲憤極まる未路。労働者の生活は悲惨である。

勢力の伸小田三井

勢力の伸小田三井。これは労働者の生活を脅かしている。

一行路病舎へ

一行路病舎へ。労働者は健康を害している。

図に乗つた組合が

図に乗つた組合が。これは労働者の権利を侵害している。

氣儘勝手な振舞

氣儘勝手な振舞。労働者の権利を侵害している。

正義は神が守る

吉田入山事務部長談

正義は神が守る。吉田入山事務部長の談話。労働者の権利を守るには正義が必要である。

悲憤極まる未路

悲憤極まる未路。労働者の生活は悲惨である。

勢力の伸小田三井

勢力の伸小田三井。これは労働者の生活を脅かしている。

一行路病舎へ

一行路病舎へ。労働者は健康を害している。

図に乗つた組合が

図に乗つた組合が。これは労働者の権利を侵害している。

氣儘勝手な振舞

氣儘勝手な振舞。労働者の権利を侵害している。

正義は神が守る

吉田入山事務部長談

正義は神が守る。吉田入山事務部長の談話。労働者の権利を守るには正義が必要である。

悲憤極まる未路

悲憤極まる未路。労働者の生活は悲惨である。

勢力の伸小田三井

勢力の伸小田三井。これは労働者の生活を脅かしている。

一行路病舎へ

一行路病舎へ。労働者は健康を害している。

図に乗つた組合が

図に乗つた組合が。これは労働者の権利を侵害している。

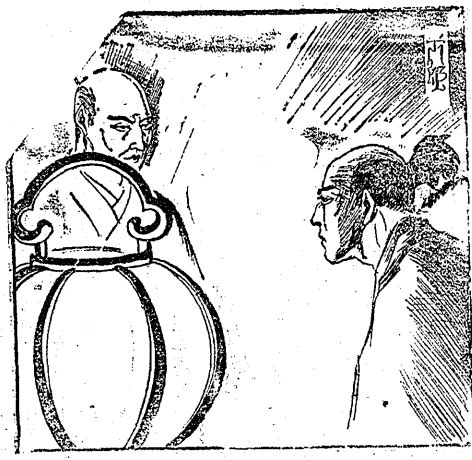
氣儘勝手な振舞

氣儘勝手な振舞。労働者の権利を侵害している。

無煙炭

高橋樹太郎創作
布施や八郎探偵

（42）
その夜神部清左門は下
瀬主水を我が邸に呼んだ。
神部と下瀬の邸とはどなり
同士の邸になつてゐたから
かういふ時に入目につか
なくてよかつた。
神部から使ひを受けて主
水が出かけて行かうとした
時その影から様子をうかが
ふ怪しげな人影のあたりも
見わた。けだげれど主水は
そんなことには気がつか
なかつた。
神部の邸へ行くとの奥の書
齋に案内されたとして神部
は家人を遠ざけて
「下瀬氏能々御越しを願つ
たのには餘儀ではないが此
の度の御使者について話した
る降服の議でござる。幸
しおきたいことがあるで
ござるまた主君へもた傳へ
願ひたいこともござる
と神部は主水の顔を見つ
つたが此の評定に付ての彼
めた。そして物動せぬ沈
勇の顔色を見て満足さうに
心に領き乍ら
今日直ぐにも申立せねば
ならぬ使者の貴殿を明日出
立するやうにと一夜おこめ
申したの、實は此の話をし
てしたためでござる」
と言葉を切つて周囲に耳
をすました。
「しては如何なる儀で
ござるませうか？」
容易ならぬ事と察して主
水の面は水を打つたやうに
緊張し一語測に乗り出さ
「その話をする前に開
てたかねばならぬことが
ござるが貴殿は主君の爲めに



「如何にも主君より縁を頂
戴してゐる以上は私の命は
即ち主君の命武士には何時
でもそれだけの覚悟がござ
る。」
主水はきつぱりと云切た
「たゞ頼しい一言拙者
も貴殿の覚悟は大丈夫のた
方と何時も信じてたつた。
その一言を聞いて大いに安
心、寧らばお話仕るが此の
度の使者の役目は命を的に
せねばならぬ大役でござる
それで時に貴殿にお願ひし
た次第でござるが實は本日
の評定と云ふのが頗る怪し
いのでござる他と拙者に通
知せずには昌康君と早間重
夫が勝手に一味の多数をた
たんで事を決しやうとした
らば夫れに相違ないのでござ
るから拙者の申すこと
を察して認めてもよいが萬一
査状に認めてもよいが萬一
果しが願ひたい。」
と飽迄も信頼する神部の
言葉に主水は涙の流れる程
嬉しかつた。
「お言葉の趣きよく判りま
す。」

夏洋の服
（主ノ店）
義主ノ店
成ノ店
立ノ店
すま
町平線岸海
服服洋川佐
店店（番八一四電）部業整

御料理
仕出し
魚榮
電話四二四番

ちんぷり
御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

石城郡 選出 縣會議員

- 井上 茂作
- 小野 晋平
- 草野 順平
- 古川 傳一
- 木村 清治

古河礦業株式會社

- 好間 礦業所
- 元山 礦夫自治會
- 新斜坑 夫自治會

磐城炭鑛株式會社

- 親交會
- 磐城縣 多賀郡 重内

入山探炭株式會社

- 立國 勞働自治會
- 福島縣 石城郡 湯本町

大倉鑛業株式會社

無煙炭鑛事務所

- 所長 漆野 佐市郎
- 經理課長 和泉 隆介
- 勞務課長 高橋 榮雄
- 採礦課長 尾藤 憲祐

建國勞働自力會

- 本部 茨城縣 多賀郡 南中郷
- 支部 第一坑 第二坑 第三坑 第四坑